

0才でも大丈夫!!

# ちびもりタイムに、おいでよ!

平日 9:30~13:30

「ちびもりタイム」は、大きな子どもたちが学校や幼稚園に行っている間の、0歳からのちびっこたちが主役の時間です。小さな子が思い思いにしたいことをして遊び、大人ものんびりとくつろげる、そんな場でありたいと思っています。

## 火曜 赤ちゃんDAY

Tuesday

赤ちゃんも外においでよ!  
シートの上でゴロゴロ、のびのび。  
スタッフやみんなとゆるーくお話ししながら、風に吹かれてくつろごう。



## 水曜 さわってつくって 表現遊び

Wednesday

子どもの森の自然を素材に、くっつけたり、色を塗ったり…アートな日常を一緒にどう?



10時~12時はスタッフと一緒に曜日テーマの遊びを楽しめます。

## ちびもりイベント

Chibimori-EVENT

### 青空紙しばい

5月23日(火) 11:00~11:30

小竹図書館とのコラボイベントです。  
みどりのなかで、お話の世界を楽しもう!  
紙しばい、大型絵本、手遊びやわらべうたなど、盛りだくさんの楽しいひと時です。

## EVENT REPORT イベントレポート

date: 2017 / 3 / 9

### はじめての外遊び 色で遊ぼう

子どもも大人も、自分だけの世界に熱中!  
触って、くっつけて、いろんな色を感じる体験をしました。  
表現する喜びを、日々の暮らしのなかでも感じてほしいな。



## 木曜 はじめての外遊び

Thursday

こどもの森がはじめての子も、外遊びはじめての子も、みんなおいで!一緒に楽しく外遊びデビューしちゃおう!  
4月 土で遊ぼう  
遊び方無限大の「土」の楽しみ方、一緒に体験してみよう!  
5月 草花・生き物と遊ぼう  
こどもりの雑草や実、いろんな生き物と触れ合おう。

## 金曜 みどりの中の 自然遊び

Thursday

草かんむり作ったり、お花で色水づくり。  
ちびガエルを探しにお散歩に行ったりも。



※月曜日は会議・研修のためスタッフは事務所にいます。  
※水・木曜日は10時にスタッフから遊びのコツのミニレクチャーがあります。  
※曜日テーマにかかわらず、いつものように好きなことをして遊べます。  
※イベントなどのため曜日テーマの遊びを出せない場合もありますのでご了承ください。

## 知ろう・遊ぼう こどもりの自然 梅ひろい 5月下旬~6月上旬の約1週間

こどもの森の梅の実、今年もたくさん実るかな?  
ぽとぽと落ちだしたら、みんなで梅ひろい。  
※毎年梅の実る時期は前後しますので、最適なタイミングで日程を決めて5月後半にHPでお知らせします。  
※自然のものなので、思ったように収穫できない場合もあります。

### Yondemi?

## おすすめBOOK

子どもの身体(からだ)力の基本は遊びです(汐見先生の素敵な子育て2)  
汐見稔幸著 旬報社



遊びが大事!ってよく聞けるけど…具体的には何がいいの?  
この本は、子どもが遊びを通して育む様々な力について、NHK Eテレ「すくすく赤ちゃん」でおなじみの汐見先生が教えてください。イラストがたくさんで雑誌のように読みやすく、読んだ後には、「よし、明日から外でいっぱい遊ぼう!」と、気持ちを後押しされるはず。



アスファルトを持ち上げて…



カマキリの赤ちゃん  
小さな公園の植え込みにもよく見るといるよ!



アリの行列



どんぐりって  
いろんな形があるんだね



てんとうむしの卵  
規則正しい  
黄色いつぶつぶ



ちびがえる!

みーつけた!!

ダンゴムシの  
かくれんぼ

## 身近な自然、探してみよう

子どものたからもの (ただの) 石ころ (ただの) 枝

そこにあるのが当たり前で大人は意識さえしないものを、子どもは驚きをもって「発見」します。



道を歩いていてもなかなか先に進めず往生しますが、子どもが足元の小さな自然をじーっと見つめているとき、その心の中では大人も知らない世界の秘密に触れているのかも、と感じることがあります。

試しに子どもの視線をまねて周囲を見回してみると、都会の中にもこんなに!と驚くほどの自然がいっぱい見つかります。

一緒に「あっ」とか「うわー」とか驚きながら歩くと、いつもの道が大冒険に早変わり♪

子どもの発見に共感する大人の存在が、実は子どもの世界をさらに広げていくのです。

## 室内の遊び場で頻発するいざこざが 外遊びでは起こりにくい理由。

外遊びの場で、お母さんが「外で遊ぶようになって親の私が救われました」としみじみ話してくれることがあります。室内の遊び場で物の取り合いやケンカが絶えなかったけれど、外ではそういういざこざが劇的に減った、というのです。それはどうしてなのでしょう。子どもには、自分のまわりに思い通りにできるスペースが必要ですが、自分のスペースに敏感な子ほど、室内の限られた空間ではトラブルになりやすかったりします。その点、外なら、スペースは比較的広く取れます。また、人数に対して使いたい物の数が足りなければ、当然ケンカに。見るからに楽しそうな「おもちゃ」には、どうしても「使いたい」が集中してしまいます。でも外なら、そこにあるものがなんでも遊び道具に。土を触る子、虫を探る子、枝を拾う子、石を積む子…やりたいことがばらけ

るから、みんながそれぞれ満足できる。取り合いだってケンカだって、それだけ成長した証だけど、環境だけで減らすこともできます。それに何より、自分と他の子の「やりたい」がぶつかった時に、「あの子の気持ちも、そしてあなたの気持ちも大切」と認められることが大事。頭ごなしの「貸してあげなさい」ではなく、「どちらも使いたいよね、じゃあどうしようか」と一緒に考えるプロセスを大事に、子どもたちに安心して成長してほしいなと思います。室内の遊び場でいざこざになりがちな子は、ぜひ、外も試してみてください。どちらのいいところもそれぞれうまく使って、子どもも親も楽しく過ごせたらいいですね。

